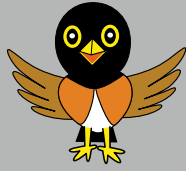


こっこめ通信 05 2020

「八丈富士ってこんな山」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現在八丈島でも5月6日まで来島の自粛をお願いしています。八丈ビジターセンターも利用休止中で、ゴールデンウィーク明けまで全ての行事が中止となっています。そこで今回は、普段のゴールデンウィークなら登山者で大いに賑わう筈の八丈富士の様子を紙面で紹介したいと思います。とはいえ、山は逃げません。新型コロナウイルス感染症が終息した後、ゆっくり、のんびり、思い切り、自然を楽しめる時が来るまで、皆で頑張ってお出かけを控えましょう。



←動画「2分で登る八丈富士」が見られます



→動画「八丈富士山頂360°」が見られます

目線を変えると楽しくなる!?

伊豆諸島最高峰、八丈富士。登山道入口からお鉢までは、1280段の石段を登っていきます。

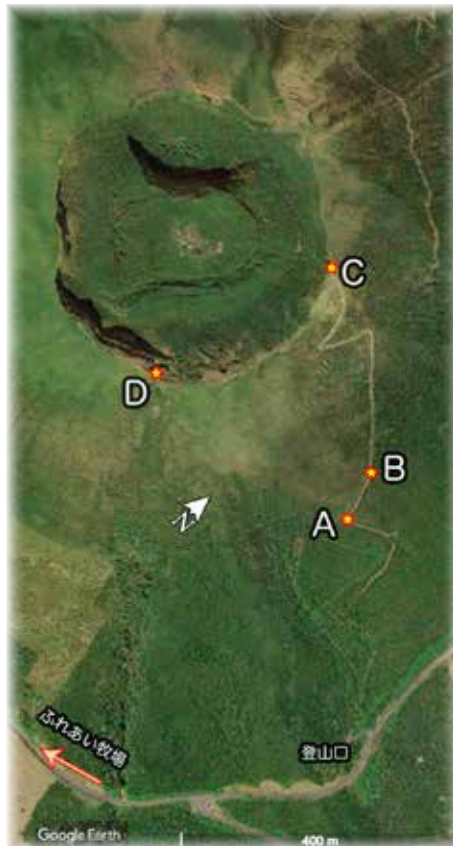
この石段が曲者で、幅が大人の足で1歩半。つまり、毎回同じ方の足で登ることになるのです。自分のペースで歩けない上に、急な登りや均一でない段差、これには疲労困憊！徐々に口数も減っていき…弱い自分が嘸きます「引き返してもいいんだぞ。」と。(少し、大袈裟かな?)

そんな辛い登山にならないように、ちょっと楽しみながら登っていけるヒントをご紹介します。(M.K.)

八丈富士に行くなら、是非見て欲しい植物を抜粋してリストを作りました。疲れてきたら足を止め、気になる植物を探してみるのも楽しいですね！

《登山道植物リスト》 ※ 見えた順

種名	科名
ハチジョウウラボシ	ウラボシ科
イノデ	オシダ科
トンボソウ	ラン科
シマコゴメウツギ	バラ科
フユイチゴ	バラ科
ユズリハ	ユズリハ科
ハチジョウイヌツゲ	モチノキ科
モミジイチゴ	バラ科
ホングウシダ	ホングウシダ科
ツボスミレ	スミレ科
ミズスギ	ヒカゲノカズラ科
ヒメハギ	ヒメハギ科
アリノウトウグサ	アリノウトウグサ科
ミズゴケの仲間	ミズゴケ科
ゲシゲシシダ	ヒメシダ科
オオキジノオ	キジノオシダ科
ヒサカキ	モッコク科
シマタヌキラン	カヤツリグサ科
シマンガリヤス	イネ科
ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ科
ツルリンドウ	リンドウ科
ホソバイヌワラビ	イワデンダ科
キジノオシダ	キジノオシダ科
ヒロハヒメウラボシ	ヒメウラボシ科
イワイタチシダ	オシダ科
タカサゴキジノオ	キジノオシダ科



《疲れたら足を止めて振り返ろう!》



A～Dの写真は、左の地図のアルファベットの場所から見た三原山です。

ルート半分のAではまだ周りに背の高い木があり、三原山の一部が隠れています。三の鳥居のあるBまで来ると三原山全体が見えてきます。お鉢分岐のCは八丈富士の尾根に隠れてこれしか見えません。山頂のDからは町や三原山が少し小さく見えます。

三原山の見え方だけでなく、水平線の位置にも注目！どんなふうに変ったかな？

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈富士の成り立ち

標高854mの八丈富士は、いつ頃、どのようにして今の綺麗な形が出来上がったのでしょうか。

八丈島は北西側の八丈富士（西山）と、南東側の三原山（東山）という二つの火山によって形作られたひょうたん型の島です。

八丈富士は約1万年前に活動を始めましたが、その頃、三原山では噴火活動が収まりつつあり、既に現在の形がおおむね出来上がっていたと考えられています。八丈富士はその後活発に噴火を繰り返して今の形になりましたが、ここに謎があります。

八丈富士の形をよく見ると、ちょうど今の鉢巻き道路が通っている辺り、標高500mから600mの中腹に少しの出っ張りがあるのが判ります。（下の写真で赤い矢印の辺り、右の地図で赤い線が鉢巻き道路です）

実はこの高さが八丈富士の頂上だった時代があるらしいのですが、それがいつ頃なのか判っていないのです。

頂上部分が陥没して直径2km程度のカルデラができ、そのカルデラの中央付近から更に噴火が起こって山が成長し、現在の形ができた訳ですが、さて、いつ頃、どんな理由で山頂部分が陥没したのか。色々と山の成り立ちを想像してみるのも自然の楽しみ方の一つではないでしょうか。（T.K.）



八丈富士の山頂火口内は、火山の噴火口というイメージに反して豊かな植生に覆われ、完全に雲霧林と言える環境を形作っています。そして八丈島でもここでしか見られない植物を観察することもできます。

そんな八丈富士火口の様子と独特の植物をいくつか紹介します。



火口の底には火口壁から崩落した巨石が横たわっています。新しい火山の山体の脆さが判ります。



火口の内壁には今にも崩れそうな亀裂が見られます。火口の縁には近づかないように。



火口の内側に向かって突き出た奇妙な形の岩。いつ崩落してもおかしくありません。



雲霧林では樹木の細い枝にまでコケが着生しています。常に湿度が高い状態にある証拠です。



非常に珍しいシダ、ヒロハヒメウラボシ。探しても探しても運が良くないと見つからない？



苔むした垂直の岩肌に着生するイワイタチシダ。鱗片がぐるりと上を向いて反り返るのが特徴。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。ビジターセンターが利用休止中のため、4月12日はスタッフだけで行っています。

八丈植物公園季節調査（2020年第4回）参加者：VCスタッフ 菊池、木下、奥山

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			35	チチコグサ	花と実	16	ヒメユズリハ	花
1	アオスゲ	花	36	チチコグサモドキ	花と実	17	マサキ	実
2	アシタバ	実	37	ツツブキ	実	18	モチノキ	実
3	アツバスマシ	花	38	トウバナ	花	19	ヤマモモ	若い実
4	アワゴケ	花	39	トゲナシサルトリイバラ	花	シダ植物		
5	イワニガナ	花	40	ナキリスゲ	実	1	イシカグマ	
6	ウスベニチチコグサ	花	41	ハナイバナ	花	2	オオイタチシダ	
7	ウスベニニガナ	花と実	42	ハハコグサ	花	3	オオタニワタリ	
8	ウラジロチチコグサ	花	43	ハルジオン	花	4	オニヤブソテツ	新葉
9	オオアレチノギク	花	44	ヒナギキョウ	花	5	シチトウハナワラビ	栄養葉
10	オオシマカンスゲ	実	45	ヒメコバンソウ	花	6	スギナ	
11	オオバコ	花と実	46	フウトウカズラ	実と蕾	7	タチクラマゴケ	孢子葉
12	オオマツバウンラン	花	47	マツバウンラン	花	8	タチシノブ	
13	オニタビラコ	花	48	ミゾイチゴツナギ	花	9	タマシダ	
14	オランダミミナグサ	実	49	ムシクサ	花と実	10	ナチシケシダ	
15	カスマグサ	花と実	50	ムニンケマン	花と実	11	ナチシダ	
16	カタバミ	花と実	51	ムラサキカタバミ	花	12	ナンカイイタチシダ	
17	カモジグサ	花	52	ヤエムグラ	花	13	ノキシノブ	
18	キランソウ	花	53	ヤマヌカボ	花	14	ハチジョウカナワラビ	
19	ケキツネノボタン	花と実	木本			15	ハチジョウシダ	
20	コケミズ	花	1	イヌビワ	実	16	ハマハナヤスリ	若い孢子葉
21	コケリンドウ	花	2	エノキ	花	17	ヒトツバ	新葉
22	コナスビ	花	3	オオアリドオシ	花	18	ヘラシダ	
23	コハコベ	花	4	オオシマザクラ	若い実	19	ホシダ	
24	コメツブツメクサ	花	5	ガクアジサイ	蕾	20	ホラシノブ	
25	シチトウスミレ	花	6	カジイチゴ	花	21	マツザカシダ	孢子葉
26	シラスゲ	実	7	クワ sp.	若い実	22	マツバラ	
27	シロバナマンテマ	花と実	8	コハクサンボク	花	23	マメヅタ	
28	スズメノエンドウ	花と実	9	シマモクセイ	実	24	ミゾシダ	
29	スズメノカタビラ	実	10	スダジイ	花	25	ヤマイタチシダ	
30	スズメノヤリ	実	11	タブノキ	花	26	ワラビ	
31	セイヨウタンポポ	花	12	トベラ	花	今回はシダ植物 26 種を含む 98 種の植物を観察しました。春咲きの帰化植物の花は概ね出そろっています。		
32	タチイヌノフグリ	花と実	13	ハゼノキ	花			
33	タネツケバナ	花と実	14	ハチジョウキブシ	花			
34	チガヤ	花	15	ヒサカキ	若い実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「コウズシマクラマゴケ」にスポットを当ててみたいと思います。



コウズシマクラマゴケ *Selaginella doederleinii* var. *opaca*

イワヒバ科の常緑シダ植物。

南日本から東南アジアの明るい林床に生えるオニクラマゴケの変種とされています。

和名の「コウズシマ」は伊豆諸島の神津島のことで、基本種のオニクラマゴケより葉の色が明るくツヤがないのが特徴です。

「神津島」はカタカナではコウヅシマですが、なぜか和名はコウズシマクラマゴケ。ここにも、一度発表されたらなかなか変更ができない生物の名前の不思議があります。 (T.K.)

2020 八丈ビジターセンター 5 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					☾ 1	2
3	4	立夏 5	6	☉ 7	8	9
10	11	12	13	☾ 14	15	16
17	18	19	小満 20	21	22	☉ 23
24	25	26	27	28	29	☾ 30
31						

イベントプログラム

ゴールデンウィーク特別行事	●バードウォッチング入門(10:00~11:30)小学生以上(小学生は保護者同伴)定員10名 ●体験八丈島産海藻の採り方ガイドウォーク(14:00~15:00)定員15名 何れも5/2~5/6開催 参加費無料	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となりました
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう! 5/10(13:30~15:00)中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名	中止の可能性あり
八文学講座 「海藻を調べよう」	毎月行っている八文学講座。今月は海藻に注目した自然体験です。 5/23(13:30~15:00)中学生以上 大湯浦園地駐車場 集合・解散 参加費:50円 定員:15名	中止の可能性あり
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日(10:30~約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名	5月6日まで中止 その後は未定

ビデオプログラム

10:00~	八丈・海・生きものたち
11:00~	おじゃりやれ 八丈島
14:00~	おじゃりやれ 八丈島
15:00~	おじゃりやれ 八丈島
16:00~	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2020.5.1 第228号

開館時間 9:00~16:45 **5月6日まで利用休止中**
〒100-1401 (利用休止は延長される場合があります)
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888
E-mail:info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

緊急事態宣言が続いています。一日も早い収束を目指し、皆で頑張りましょう。(T.K.)
疑似体験ができる動画をTwitterとホームページで公開しています。表紙のQRコードからも見ることができます。(H.T)